

会員様同士の交流の足掛けとなるべく、月に1回お届けしております。

+++ CONTENTS +++

- [1]青銀会理事メンバーによるリレーエッセイ:第1回 理事長 森下竜一
- [2]青い銀杏の会 第4回大会の御案内
- [3]会員VBからのお知らせなど
- [4]助成金・イベント・セミナー等のお知らせ

[1]青銀会リレーエッセイ 第1回 寄稿:理事長 森下竜一

～ NPO法人「青い銀杏の会」のサポーター募集！ ～

あけましておめでとうございます。平素は、NPO法人「青い銀杏の会」をご支援くださり、ありがとうございます。今年もよろしく願いいたします。

NPO法人「青い銀杏の会」は、大阪大学発ベンチャーの相互交流と母校への貢献を願って始めました任意団体青い銀杏の会が始まりです。全国でも始めてのベンチャー側からの結束の会ということで、大変注目を集めました。また、総会には文部科学省の有本局長などにも来ていただき、大学発ベンチャー共通の悩みや発展策に関して議論してまいりました。そのような中で、多くの方から大阪大学だけという狭い枠でなく、もっと多くの大学発ベンチャーにも交流の輪を広げてはどうかというご意見をいただき、新たにNPO法人としてスタートいたしました。NPO法人発足に当たりましては、大変多くの方のご協力をいただき、改めてご支援にお礼を申し上げます。

と、ここまでは、型通り堅い？雰囲気でしたが、それでは面白くないので、普段の調子に戻ります。若輩者の私で、皆様に大変申し訳ないのですが、今回は理事長ということで最初のメルマガのスタートを切らせていただくことになりました(実態は、某事務局長の大変なご尽力で始めました会で、私は演出？にそって、動いているだけの楽な役です。K先生、ありがとうございます！)。でも、たまには今回のメルマガのトップ・バッターなど嫌な？役も回ってきます(メルマガは、どんどん回りますので、他の方も覚悟ください)。

他の大学での講演などを引き受けておりますと、改めて大阪大学の懐の深さやこの青い銀杏の会の意義などが良く理解できます。巷では、ご存知のようにイノベーションの風が吹き荒れております。安倍政権で最も期待される大きな変化は、イノベーション25ではないかと思えます。イノベーション25の意味がなかなか理解されず、批判もされているようですが、2025年を想像することは大変大きな意味があることがわかってまいりました。

当初私も意味が正直良く理解できていませんでした。しかし、イノベーション25や新健康フロンティア戦略(こちらも安倍総理の肝煎りです)の下請け？の委員会に出てわかったことは、いかに2025年を想像するのが難しいかです。

誤解を恐れずにいうと、日本の政策は今まで近視眼的に過ぎました。よくて、10年、大概は5年の計画を決めてただけです。勿論、5年、10年という時間軸の計画も大変重要ですが(これまでも大変重要な変革をもたらしてきました)。しかし、これは25年、50年という長期戦略を決めた上でないと意味がありません。その意味で、今回のイノベーション25は大変重要です。

安倍総理のイノベーション25に関する発言をみてみましょう。安倍総理は冒頭の挨拶で、「イノベーションは、単に新しい発明、技術の発明だけではなくて、新しい取組や技術的な考え方、そういう幅広いものではないかと思えます。今まで日本においてはどちらかというと非常に目の目的や目の利益のために、その場しのぎ的な政策を行ってきたわけがありますが、是非、皆様方には

長期的な視点に立って、将来、新しい考え方、イノベーションによってどのような社会が実現するか、それにどのように備えていくべきか、そのためにはこういう政策を考えていくべきだと。あらゆる角度から議論していただきたいと、このように思うところでございます。」と述べています。

医学、工学、情報工学などの分野ごとに今後戦略がまとめられていくわけですが、社会が変わるようなイノベーションの戦略というのは、意外に？想像することすら難しいことがわかってきました。私も、はたと？考え込みました。例えば、ヤフーやグーグルの誕生と現在のインターネット社会の到来が果たして20年前(1987年)に予測できたかどうか？私の専門分野である医学でも、20年前に現在の超高齢化社会の到来がどこまで予測できたか？正直、ほとんどの方は予測できなかったでしょうし、予測した方はむしろ馬鹿にされたのではないかという気もいたします。

その意味で、個別領域の戦略を語るだけでは不十分でしょう。まず、イノベーションを持続的に生み出すためのシステム構築の議論が必要だと思います。今までの日本の科学技術は、会社や大学ごとのクローズドな閉じられた中での進歩でした。これからは、オープン・イノベーションを実現しなくては飛躍的な変革は不可能です。したがって、オープン・イノベーションを行うための社会システムの構築が第一の課題と考えます。特に、人材育成がオープン・イノベーションには必須ですので、イノベーションを生み出す人材をつぶさないで、伸ばし続ける場を提供することが重要です。良く言われることですが、ノーベル賞受賞者の多くは30代での仕事です。

第二に、イノベーションを実現するためのツールの提供です。例えば、画期的な医薬品のアイデアが生まれたとしても、大学などのアカデミアだけでは持続的なイノベーションの継続は不可能です。また、製薬企業などの従来型のインダストリーだけでも不可能です。RNA干渉という技術がありますが、画期的な医薬品を生み出すのではないかという期待が持たれており、今年ノーベル賞を受賞しました。しかし、イノベーション誕生から社会での実現までには、イノベーション・ギャップが存在します。このギャップを埋めるツールが重要です。それは、何でしょうか？

私は、やはりベンチャーがツールだと思います。IT技術が、社会にイノベーションを引き起こせたのは、技術が優れていたことだけではありません。伝道師たちがいたためです。マイクロソフト、ヤフー、グーグル、これらのベンチャー企業がイノベーションの更なる進化と社会への普及を促進しました。もし、これらの企業が存在しなればどうだったでしょうか？逆に、これらの企業群が存在しなかった日本でイノベティブなIT技術は生まれたでしょうか？

結局、イノベーションを生み出すヒトとその活躍する場、この両方をいかに準備するか？青い銀杏の会は生まれたての小さな組織ですが、その準備に貢献できるのではないかと信じております。多くのサポーターの方の支援を得て、イノベーションに挑戦している多くの大学発ベンチャー会社が集まる大きな意義のある組織に発展することを信じたいと思います。今年もまもなく1月29日に総会と講演会を行います。特に、本年は人材育成やイノベーション実現の場としての大学とベンチャーとの関わりを経済産業省や文部科学省より担当の方をお招きして、オープン・イノベーション実現のための社会環境整備の戦略を議論していきたいと思っております。是非、皆様とお会いすることを切望しておりますので、よろしくご参加の程お願いいたします(長々と書いてきましたが、ここが一番言いたかった点です！詳細は、本メルマガを最後までご覧ください)。

では、1月29日会場でお会いすることを楽しみにしております。次回のメルマガがどなたか？ご期待ください。

P.S. 最近ブログを行っております。よろしければ、ご覧ください
(<http://blog.m3.com/>)。

#####

【2】青い銀杏の会 第4回大会の御案内

■ 青い銀杏の会 第4回大会
http://www.osaka-u.com/No4_Taikai.html

平成17年2月に、大阪大学発ベンチャー間の交流、
ならびに産業界と大阪大学との産学連携をより活性化させるために、
任意団体「青い銀杏の会」(通称:青銀会)を設立致しました。
青銀会は本年6月をもちまして、特定非営利活動法人として新たに発足し、
大学発ベンチャーの支援機関として、大阪大学という枠に捕らわれず、
産学官連携支援活動をより活性化するために活動しております。

大会では、有識者による基調講演や研究者による新規研究内容発表、
会員企業様の発表の場を設けさせていただきます。
また、第4回大会終了後、会員の皆様にご交流頂ける場として
懇親会も開催致しますので、この機会に大会だけでなく懇親会にも
是非ともご参加賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

【開催日時】

平成19年1月29日(月) 13:00~19:30

【開催場所】

大阪大学 吹田キャンパス 銀杏会館3階 阪急・三和大ホール(大会)
2階レストラン「ミネルバ」(懇親会)予定
(アクセス図) <http://www.osaka-u.ac.jp/jp/about/map/index.html>

【参加費】

(大会)個人・法人・非会員:3000円
学生・法人賛助・法人特別賛助会員:無料
(懇親会)3000円

【プログラム】

テーマ『大学発ベンチャーに求められる人材とは』

12:00-13:00 受付

13:00-13:05 開会挨拶 :特定非営利活動法人 青い銀杏の会 森下竜一

13:05-13:35 ベンチャープロジェクト発表 :
大阪大学大学院 薬学研究科 教授 今西 武氏
(講演者:田村 格氏)
大阪大学 微生物病研究所 教授 生田 和良氏
(講演者:上畑 滋氏)
大阪大学 産業科学研究所 助手 開発 邦宏氏

13:40-14:10 ベンチャー企業紹介
株式会社サンルイ・インターナショナル
代表取締役 森田 敦子氏
株式会社ビークル マネジャー 日詰 信吾氏

14:15-14:45 大学発ベンチャー支援機関紹介
株式会社プロネクサス 営業部 部長 尾方 勝氏
三菱UFJ信託銀行株式会社
営業推進グループマネジャー 大久保 敏充氏
野村證券株式会社 大阪企業金融三部
部長 坂東 雄二郎氏
大阪大学 先端科学イノベーションセンター
スタートアップ支援室
客員研究員(NEDOフェロー)高橋 佑嗣氏

15:00-16:40 パネルディスカッション
クリングルファーマ(株)代表取締役社長 岩谷 邦夫氏
経済産業省 産業技術環境局 大学連携推進課長
吉澤 雅隆氏
文部科学省 科学技術・学術政策局 基盤政策課
人材政策企画官 北尾 善信氏
大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 教授

森下 竜一氏

17:00-17:30 特別講演
経済産業省 産業技術環境局長 小島 康壽氏

17:35-17:50 中間期総会

18:00-19:30 懇親会

詳細につきましては、以下のWEBをご高覧頂きたくお願い申し上げます。
http://www.osaka-u.com/No4_Taikai.html

○参加申し込み & 青い銀杏の会事務局
E-mail: info@osaka-u.com
TEL: 06-6816-9327
FAX: 06-6816-9326

* 登録頂く個人情報は、次回開催予定のセミナー等に関するご案内を送付する際に使用させて頂くことがあります *

#####

【3】会員VBからのお知らせなど

◎青い銀杏の会メールマガジン編集部では、会員企業様からのお知らせをお待ちしております。会員同士の活発な情報交換のために、宜しくお願いいたします。

メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com

【4】助成金・イベント・セミナー等のお知らせ

▼△▼△

★☆☆★中小企業ビジネス支援ポータルサイト「J-Net 21」☆☆☆☆

【J-Net21】
<http://j-net21.smrj.go.jp/>

【Q&A道場】
<http://j-net21.smrj.go.jp/qa/>

▼△▼△

JST 新技術説明会開催のご案内

1月29日(月)九州工業大学 新技術説明会
【実用化を展望した情報分野技術】
<http://jstshingi.jp/kit/>

2月2日(金)くもと発 新技術説明会
<http://jstshingi.jp/kumamoto/>

<各開催共通>

会場: 科学技術振興機構 JSTホール(東京・市ヶ谷)

参加費: 無料[事前登録制]

定員: 各発表130名

▼△▼△

日時:平成19年2月1日(木)13:30~19:00(開場13:00~)
会場:赤坂プリンスホテル「五色」(東京都千代田区紀尾井町1-2)
<http://www.rpip.tohoku.ac.jp/inv2007.htm>

事前申込みは不要です。お気軽にご来場ください。

▼△▼△

☆編集後記

この度、青い銀杏の会の学生部会Azが第一回青銀会メールマガジンの編集を担当いたしました。今後は、青い銀杏の会の会員様同士の交流をさらに潤滑にするツールとして発展していければと思っております。また、より密度の濃いメールマガジンとするべく、会員様からの情報のご提供もお待ちしております。何卒ご協力の程、宜しくお願いいたします。(K)

- 発行責任者:青い銀杏の会 <http://www.osaka-u.com/>
- 編集:青い銀杏の会 学生部会Az <http://www.osaka-u.com/gakusei-az/>
- メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com
- このメールマガジンの、お知り合いへの紹介や転送は自由です。
- Copyright (c) 2007 青い銀杏の会. All rights reserved.